

改善したい項目として、酪農家の多くが繁殖成績を最初に挙げると言われますが、貴場は如何ですか？ 経営は繁殖成績に大きく左右されるし、現状の遅延した数値を見れば当然のことでしょう。

今年度より多くの検定農家が新様式の成績表を選択しているので、新成績表の繁殖情報について触れます。今回は「牛群成績」です。

「移動13カ月成績」に「授精状況」と「管理状況」の欄があります。「授精状況」で最も大事なものは初回授精開始日です、なぜなら分娩間隔との相関が高いからです。「管理状況」は、空胎日数と乾乳日数別の頭数割合が示されています。空胎日数や乾乳日数が延びるほど周産期病のリスクが高まりこれが繁殖成績遅延にも及ぶことから、どちらも繁殖成績向上に欠かせない項目です。

これらの下段には「初産分娩月齢と分娩間隔」があります。平均値もさることながら、どちらも大きく遅延している区分の割合を減らすことで改善につながります。さらにその下段に、未授精牛を把握し授精につなげるための「授精報告」があります。120日以上頭数が多い牛群は、栄養管理を含めた改善対策の検討が必要です。

改善したい項目として、酪農家の多くが繁殖成績を最初に挙げると言われますが、貴場は如何ですか？ 経営は繁殖成績に大きく左右されるし、現状の遅延した数値を見れば当然のことでしょう。

「検定成績表(様式C)」に「年間管理情報」の欄があります。授精情報の中で「分娩後初回授精平均日数」は特に重要です、なぜなら分娩間隔との相関が高いからです。

次に、平均乾乳日数と平均空胎日数にも注目しましょう。乾乳日数や空胎日数が延びるほど周産期病のリスクが高まりこれが繁殖成績遅延にも及ぶことから、どちらも繁殖成績向上に欠かせない項目となります。これらの数値を改善することで「平均分娩間隔」の改善、繁殖成績の向上が図られます。なお、「年間管理情報」には主要な項目に目標値が設定されており、これに近づける改善努力が望まれています。

個体の繁殖情報としては、「個体管理情報」の欄があり、授精、受胎、乾乳日数、分娩間隔が表示されています。平均値だけにとられることなく、数値がどのように分布しているかを把握することも大切です。